学校だより　冬休み号

相模原市立二本松小学校
2024.12.24

にほんまつ

「かしこさ」
「やさしさ」
「たくましさ」

松っ子ブログ

自分で決めたゴールをめざす大切さ

校長　松浦　隆志

童謡「うさぎとかめ」を知っているでしょうか。「もしもしかめよ　かめさんよ～」の歌い出しで有名な曲なので、ご存知の方も多いかと思います。 この童謡の原作は、有名なイソップ物語で、ウサギとカメが、かけっこで競争し、どちらが早く山のてっぺんのゴールまで到着するか競う物語です。

このウサギとカメのモデルは、野ウサギとリクガメだと言われています。ある説によると、野ウサギの走る速さは時速72km。高速道路を走る自動車並のスピードです。

一方、リクガメの走る速さはで時速0.32km。これは、100mを歩くのに19分もかかるスピードです。ウサギの速さは、カメの速さの225倍にあたります。これではあまりピンと来ないので、カメの歩く速さを人間の歩く速さ(時速4km)に例えるなら、ウサギの速さはなんと、時速900km！つまり、ウサギとカメとの競争は、人間とジェット機との競争と同じ感覚だといえます。

物語では、競争相手のカメが見えなくなる程の圧倒的な差をつけ、自分の勝利を確信したウサギが、ゴール直前で昼寝をしてしまいます。一方でカメは、ウサギが昼寝をしている間にも、ゆっくりながら休まずに歩き続けました。ウサギが寝過ごした事に気づいたときには、時すでに遅し。カメは、ゴールである山のてっぺんに、ウサギよりも先にたどり着きました。

さて、そんな実力差がある勝負で、カメがウサギに勝利することができたのは、どうしてでしょうか。いろいろな考えがありますが、私は「見ているところの違い」が勝敗を分けたと思います。

「ウサギが負けたのは、『自分以外の誰か(カメ)』を見ていたから」

ウサギは、ゴールではなくカメを見ていたがゆえに、油断をして、本来のゴールを見失ってしまった。

「カメが勝ったのは、『自分で決めたゴール』を見ていたから」

カメは、自分の力を信じ、最後まであきらめずに自分で決めたゴールをめざして、勝利することができました。もし、カメが相手であるウサギを見ていたら、225倍の速さのウサギと自分を比べて、自信をなくし、途中で諦めていたかもしれません。

いよいよ明日から冬休みが始まります。2学期を終え、一年の振り返りをするとともに、新たな目標を立て、スタートする季節でもあります。人と比べるのではなく、自分自身を振り返りゴールを自分で決めること、そして最後まで諦めることなく、そのゴールめざして走り抜けることができるよう、職員一同、応援していきたいと思います。

【連絡】
・学年末に転居予定がある場合には、早めに担任までご連絡をいただきますようお願いいたします。
・「学校教育評価」回答のご協力、ありがとうございました。